

地域情報化に向けた新たな取り組みと リサーチセンターの役割について

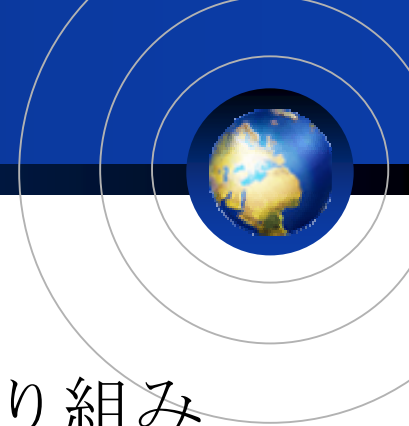


平成19年 3月26日

NiCT 九州リサーチセンター

特別研究員 西田真三
nishida@kyushu.jgn2.jp





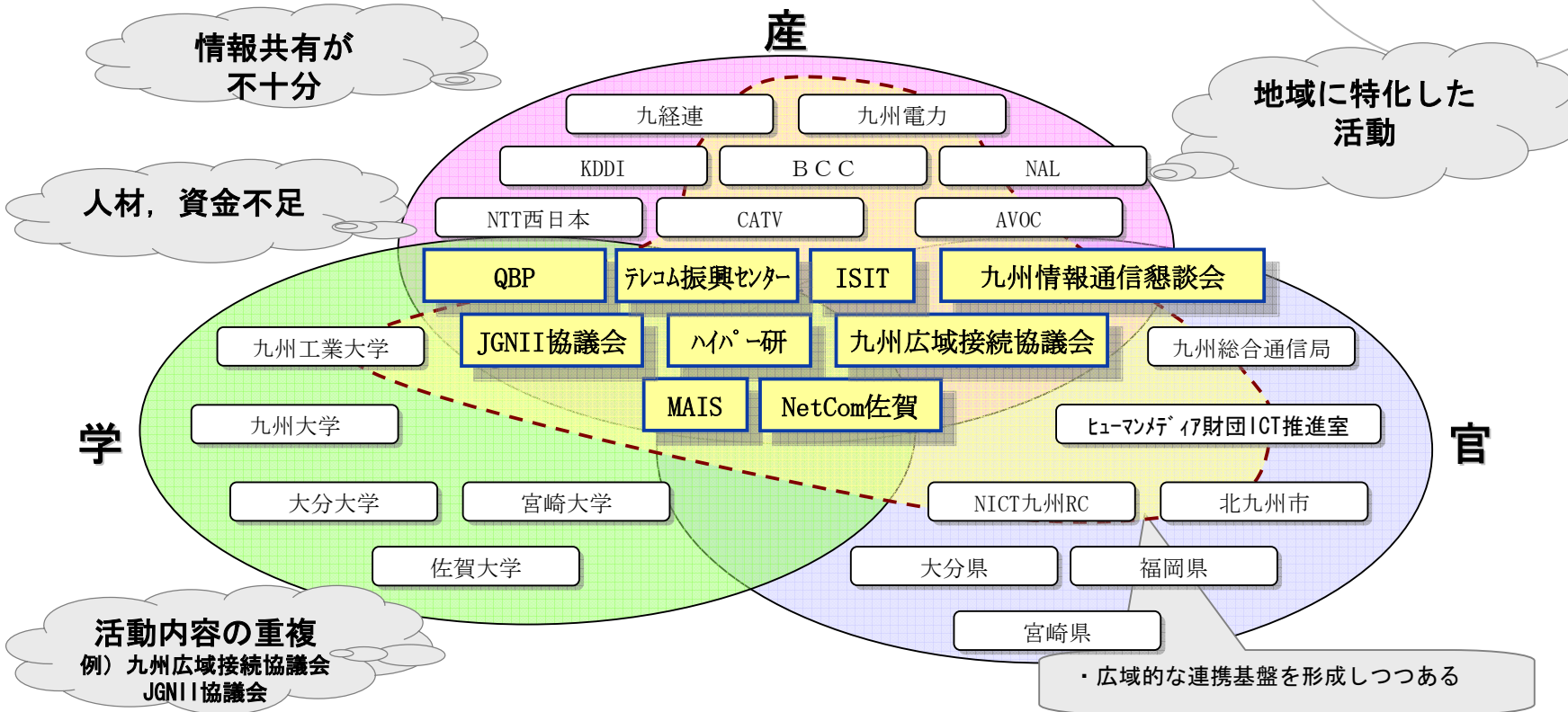
■ 新たな産学官連携体制の構築にむけた取り組み

■ 九州リサーチセンターの役割

九州における地域情報化を進める組織の課題

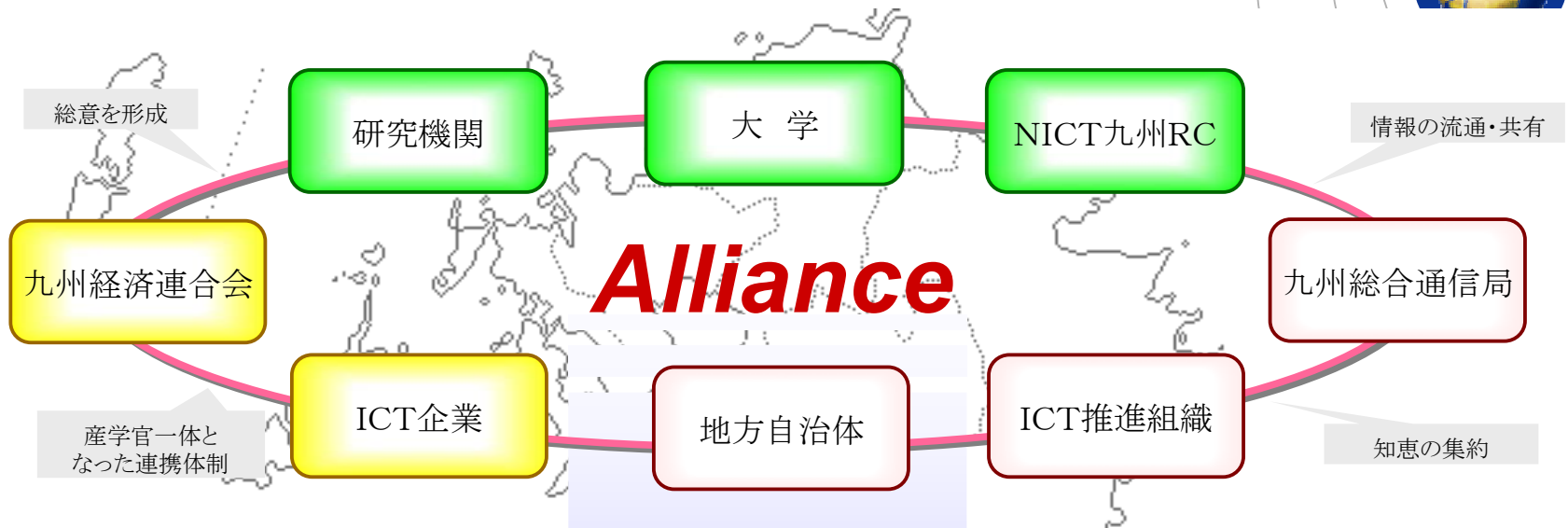


- ・各組織毎または、各地域限毎に連携し種々の取組みを実施
- ・九州地域一帯となった大きなパワーを形成するに至っていない



九州全域を見据え、資金・人材・技術力に支えられた公平、かつ、効率的な地域ICT活動を推進可能な新たな枠組みが必要

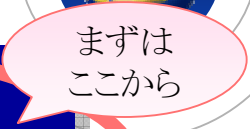
九州地域に求められる新たな枠組み



産学官連携体制を確立し九州全域で効果的かつ同時平行的に地域情報化を推進



組織のミッション



まずは
ここから

- 分野, 立場, 地域の垣根を越えた連携の推進
- コミュニケーションの場および材料を提供
- 情報流通・情報共有を促進



- 九州の総意たる一体感と力を形成
- 公平, 広域, 精力的な活動



- 多様な知恵と力を集約



- 新たな価値および力が創造



- 九州のICT産業, 研究開発の活性化



- 九州地域の発展



◆以下の団体が中心となりプロジェクトの設立に向け検討中

- N I C T九州リサーチセンター
- ヒューマンメディア財団
- 九州インターネットプロジェクト
- 九州経済連合会
- 九州電力
- ネットワーク応用技術研究所

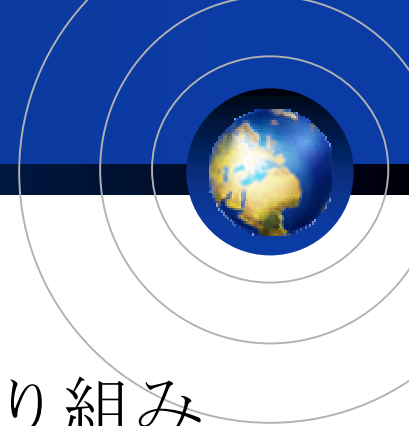
◆平成19年度 プロジェクト発足予定

H19, H20年度活動計画案



- ◆ H19年度は、地域ICT推進組織との連携事業に注力
- ◆ また、ワークショップ等を通じて本組織の存在を積極的にPR

区分	活動項目	調整箇所	実施年度					備考
			H19年度				H20年度	
			Q1	Q2	Q3	Q4		
連携事業	佐賀高校総体映像配信実験	佐賀県, NetComさが		■				開催：7月28日～8月20日
	別府湾会議	大分県, ハイパー研			■			前回：2005年11月
	地域情報ハイウェイ活用成果報告会	宮崎県, MAIS				■		MHJ21利活用成果報告会を展開
独自企画	九州情報通信連携機構シンポジウム	QBP		■				QPBSと連動？
	九州ICT技術者表彰制度					■		
	ICT夜なべ談義in佐賀	NetComさが			■			佐賀高校総体の成果発表を兼ねて実施
	公募事業等を活用した広域連携プロジェクト					■		
	共同研究講座開設	地元企業, 大学					■	
支援事業	デジタルデバイド解消パイロット実証実験	九経連					■	
	九州広域接続実験協議会	総通局, 九経連			■	■		H18年度の成果を受けて継続を検討
	次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会	総通局					■	
	九州情報通信懇談会	総通局, 九経連					■	
	九州総合通信局 産学官連携活動協力	総通局					■	
	九経連情報通信委員会 活動計画立案協力	九経連			■	■		



- 新たな産学官連携体制の構築にむけた取り組み
 - 九州リサーチセンターの役割
-

九州地域におけるリサーチセンターの役割

- ◆ネットワーク研究の産学連携拠点として地域の期待は大
- ◆地域と共生し研究開発の活性化および情報化に資する活動が求められている

【役 割】

世界最先端の研究資源の提供

中央研究(産業)機関と地元研究(産業)機関を結び付け地方の研究開発を牽引

地域ICT支援活動を通じた地域情報化や人材育成

研究成果(本部, RC)の地域浸透

【九州RCの状況】

RC研究設備, JGN等
(取組中)

共同研究等
(取組中)

協議会, 実証実験, WS等
(取組中)

今後任務

！ 更なる研究開発力向上および地域との連携が重要

リサーチセンターへの期待

- ◆地域の研究組織を取りまとめ交流，連携の場を提供
- ◆我が国全体の研究者の育成および技術力の底上げに寄与

